

(ミシン目で切り取ってください)

申込用紙 2

a 令和8年度●再商品化義務量および委託申込量算定用紙

利1

# 利用事業者用

(中身製造事業者 小売・卸売業者等)

## 特定容器・包装を利用する 中身製造業者



- ★食品、清涼飲料、酒類、石けん、塗料、医薬品、化粧品などの製造業者

## 輸入業者



- ★中身を輸入した後に特定容器や特定包装を付す事業者
- ★特定容器や特定包装が付された商品の輸入を行う事業者

(なお、特定容器の付された商品を輸入している事業者は、製造事業者にも該当します。製造等事業者用の申込用紙も併せて記入してください)

利用事業者  
とは…

## 特定容器・包装を利用する 小売・卸売業者



- ★商品を販売する際に特定容器や特定包装を利用する事業者

## その他



- ★購買部等で特定容器や特定包装を利用している学校法人、宗教法人
- ★テイクアウトに特定容器や特定包装を利用している飲食店など

Black  
KYO

スニ97

担当営業

検査機校正

第三校正

第二校正

第一校正

ご記入にあたって（利用事業者用）














1. 計算方法は 自主算定方式 と 簡易算定方式 があります。





自主算定方式・・・基本の算定方式です

簡易算定方式・・・自主算定ができない場合に限り選択する算定方式です

※同封の〈再商品化委託の申込要領〉9ページをご参照ください

2. 用途の例 総務省の日本標準産業分類(最新版)により用途を区分しています。

用途	詳細（例）
ガラスびん	食料品  牛乳、加工された食品
	清涼飲料、茶・コーヒー  豆乳、清涼飲料
	酒 類  ビール・焼酎
	医薬品  「医薬品」と表示されているもの
	化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品  化粧品
	上記以外の用途  小売時にその場で用いるびん
PETボトル	食料品（しょうゆ・乳飲料等・その他調味料）  しょうゆ  ドレッシング、酢、みりん風調味料、醤油加工品  料理酒・クッキングワイン  乳酸菌飲料 ※食用油脂を含まず、簡易な洗浄により内容物及び臭いを除去できるものに限る
	清涼飲料  お茶、ジュース
	酒 類  焼酎  ワイン、みりん

用途	詳細（例）
紙容器	食料品  パンなど食料（小売店舗の敷地外で付されたもの）
	清涼飲料、茶・コーヒー  内側がアルミの紙バック
	酒 類  内側がアルミの紙バック
	油脂加工製品・石鹼・合成洗剤・界面活性剤・塗料  洗剤  粉石鹼
	医薬品  「医薬品」と表示されているもの
	化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品  化粧品の外箱・中身の緩衝材
紙包装	小 売  手提げ  ギフト箱  小売時に用いる平袋
	上記以外の用途  ペットフード、雑貨
	 商品を含むために用いる用紙や新聞紙

よくあるQ&A〈判断に迷う例〉

Q 自社製造製品（パン）を、入れている袋の用途は？


A 工場で製造し、同一敷地内で販売する ▶「小売」

A 工場で製造し、同一敷地外で販売する ▶「食料品」

Q 野菜の生産者が、小売店に納品する際に使う袋の用途は？

A 収穫したまま無加工で袋詰めしている ▶「上記以外の用途」

A 野菜を加工して袋詰めしている ▶「食料品」

用途	詳細（例）
プラスチック容器	食料品  油（PET素材でも、プラとして扱う）  塩、砂糖  惣菜のバック・弁当箱（小売店舗の敷地外で付したもの）
	清涼飲料、茶・コーヒー  清涼飲料等のキャップ  コーヒー豆・コーヒー粉末  お茶・茶葉
	酒 類  酒類のキャップ
	油脂加工製品・石鹼・合成洗剤・界面活性剤・塗料  洗剤、漂白剤
	医薬品  「医薬品」と表示されているもの  医薬品のキャップ
	化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品  シャンプー  歯磨き粉  化粧品のキャップ
プラスチック包装	小 売  レジ袋  テイクアウトの容器  惣菜のバック・弁当箱（小売店舗の敷地内で付したもの）
	上記以外の用途  卵の容器、果物・野菜のネット袋など（無加工の自然物）
	 容器のラベル  トレイのラップ

※用途の判断に迷った場合は、当協会コールセンター（03-5251-4870）にお問い合わせください。

（ミシン目で切り取ってください）